評価

介護保険 生活支援コーディネーター

Q 町社協に業務を委託している当該事業の実績等は。

A 高齢者の生活支援及び介護予防サービスに係る提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たすことを目的とし、取り組んでいます。令和5年度の具体の取組としては、はつらつクラブ・いきいきサロンの講座準備など、地域での活動支援や地域ケア会議への参加と、高齢者向け福祉サービスをまとめた冊子「いきいきスマイルらいふ」の企画・作成を行いました。

期待

水道 水需要は減少傾向

Q 水道事業における純利益は、前年に比べて、増益になっているが。

A 予算の段階では2800万円程度の赤字を見込んでいましたが、主に動力費（電気代）が想定を下回ったことで、約327万円の黒字になりました。今回は一過性のことで抜本的な経営改善が図れて増益になったものではないと認識しています。

期待

Q 水需要の減少傾向は、確認できるか。

A 5年前に比べ約9%減少しました。今後も給水人口の減少、節水型機器の普及、節水意識の向上等により水需要は減少し、それに伴い給水収益は減少すると見込んでいます。

下水道 27・7%の減益

Q 令和5年度決算の公共下水道事業について説明を。

A 腰越・増尾、靱負・木部、角山地内において、3件の管渠築造工事を実施し、これにより整備済面積は、計画の約97%が完了しました。

公共下水区域が広がることにより、収益は微増していますが、営業外収益は減少し、純利益は前年度比27・7%減少しました。

今後は、区域拡張による収益は見込めず、人口減少に伴う収入減を予想しています。また、町が県に支払う汚水処理費の単価が、令和8年度から大幅な値上げが予定されています。

Q 厳しい経営環境の中、今後の下水道使用料の改定はあるか。

A 公共下水道区域の見直しや経費削減等の経営努力を続ける一方、令和5年度から令和6年度にかけて経営戦略の改定を進めています。

今後は、年内に下水道事業審議会に使用料改定について諮問を予定しています。住民に対しては分かりやすく丁寧な説明を心がけていきます。

評価

手話は言語！ 意見書の提出から10年 コロナ禍を乗り越え念願の条例制定へ

Q 平成26年9月に当町議会は国に対して「手話言語法（仮称）の制定を求める意見書」を提出した。以降、全国各地の自治体で関係条例が制定されてきたが、今日に至る経過等は。

A 平成31年3月に関係団体等と条例制定へ向けた懇話会をスタートしましたが、コロナ禍で議論を進めることができませんでした。その後、令和5年度から意見交換等を再開し、検討を進めてきました。互いを理解・尊重し合う「地域共生社会の実現」を目指し、ろう者等の皆さんと共に考え、意見交換をするプロセスが何よりも大切であったと捉えています。

皆さんも

小川町聴覚障害者協会
会長 長島義一さん
（大塚一）

手話言語条例の制定により、より一層のバリアフリーが進むことを願っています。
「手話は言語である」と初めて国連で定義されてから16年。
今や手話は世界中に認識され広がっています。
皆さんもやってみませんか？

手話言語条例

評価

学童の運営を指定管理に

Q 令和7年度から小川小校区の学童が指定管理者制度による運営となるが、背景等は。

A これまで運営を担っていた保護者会等との丁寧な話し合いから、風の子及び第2風の子学童クラブを「小川学童クラブ」とし、指定管理事業者による運営に変更します。また、午後7時までだった利用時間を午後7時30分まで延長し、サービスの拡充を図るものです。

保護者の負担軽減が形に

公開します

議決結果はHPでも見られます→

審議した主な議案

議員の賛否内訳と審議結果

○…賛成 ×…反対
ー印…議員は賛否同数の場合のみ採決に参加します

他15議案は全員賛成で原案どおり「可決・認定」しました

議案名	議員名	田中立男	関根慶則	岡部久志	田端良成	稲村壌治	鈴木秀尚	五十嵐康博	笠原規弘	大戸久一	田中照子	笠原英彦	髙瀬勉	髙橋さゆり	山口勝士	島﨑隆夫	髙橋功人	審議結果
令和5年度決算の認定	一般会計 101億8450万円	×討論	○	○討論	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	認定
	国民健康保険特別会計（事業勘定） 36億 360万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	認定
	後期高齢者医療特別会計 4億7220万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	認定
	介護保険特別会計（保険事業勘定） 30億7440万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	認定
小川町地域活性化交流拠点整備工事請負変更契約の締結		○	○	○	○	○	○討論	○	×	×討論	○	○	○討論	○	○	○	ー	可決

一部事務組合議会から報告

一部の行政サービスを複数の市町村が共同で行うための団体が一部事務組合です。
構成市町村の議会から議員を選出しています。

比企広域市町村圏組合

猛暑の夏「熱中症の救急搬送」が多発

- **消防署の熱中症の搬送** 6月：20件、7月：75件、8月：46件、9月：22件
- **消防本部の人事異動** 消防長：服部 明氏　次長：原 芳和氏
- **議案** 令和6年度 消防特別会計負担金の変更…全市町村で減額。
  令和5年度 歳入歳出決算…原案どおり認定。

小川地区衛生組合

可燃ごみは「減少」 し尿処理費が「増加」

- 令和6年度 一般会計補正予算…旧焼却場（中爪）解体工事の基本計画を作成。
- 令和5年度 歳入歳出決算…原案どおり認定。

（歳入）事業系一般廃棄物の処理手数料の増加。
（歳出）し尿処理費は施設修繕料の増加。
可燃ごみ処理量は人口減により減少。

次ページから一般質問